

自然観察学習館 ニュースレター

2019年3月号



鳥はなぜ さえずるのか？

鳥の鳴き声には、大きく分けて「地鳴き」と「さえずり」の2種類の鳴き方があります。「地鳴き」は、秋から冬にかけて低い小さい声で鳴きます。そして、春から夏にかけて美しい声で鳴く声を「さえずり」といいます。

鳥は、いったいなんのためにさえずっているのでしょうか。

鳥がさえずるのは、ほとんどの場合繁殖期に限られます。また、さえずるのは多くの場合オスのみです。そのため、鳥のさえずりはオスがメスを引き付けるためのラブソングだと考えられています。そして、さえずりの練習を始めるきっかけは、一日の日照時間にあり、春が来て日が長くなってくると鳴き始めるのです。

また、さえずりにはメスを引き付ける以外の目的があることもわかってきました。それは、自分のなわばりを宣言して、ほかのオスの立ち入りを禁止するねらいをもっていることです。なわばりを宣言するために鳴く場所を「ソングポスト」と呼びます。そこで高らかにさえずり、他のオスに「入ってこないで」と知らせているのです。

鳥の鳴き声は、私たちの耳を楽しませてくれるのはもちろんですが、パートナー探しやオスたちの無駄なけんかを避けるためのものです。公園で散策中に鳥の鳴き声が、聞こえてきたら、どちらのさえずりなのか耳をすませてみましょう。



ウグイスの戦略？

うまいオスほど下手に鳴く？

きれいな声でさえずるウグイスですが、春の鳴き始めの時期は、鳴くのが久しぶりなので、うまく鳴くことができません。特に、生まれて初めて鳴く若鳥は、何度も練習を重ね、ようやくきれいな声で鳴けるようになります。そして、ようやくパートナーを呼べるようになるのです。

しかし、
熟練になればなるほど、
「私は鳴くのが下手です。」

と言わんばかりに、切れ切れの下手な声を出すことがあります。その声で、周りを油断させて、ほかのオスの鳴き声につられてきたメスに対して、突然きれいな声でさえずります。すると、突然聞こえてきた声につられて、メスが熟練のオスのほうに行ってしまうことがあるようです。



【今月の行事】

- 8(金) 季節の植物観察会
 - 16(土) 野鳥観察会
 - 21(木) 昆虫観察講座 ※
 - 23(土) 木や竹、木の実を使った工作
 - 24(日) 春のきのこの観察会 ※
 - 24(日) 春の野草の観察会
- ※は事前申し込みが必要です。

館内展示「春が来た！」

いよいよ春の訪れです。

春は花がいちばん多い季節です。

咲き始めた花に、虫たちもやってきます。

どんな花にどんな虫がやってくるのでしょうか。

展示をみてから、公園の散歩に出かけませんか。

自然観察学習館

〒565-0826 大阪府吹田市千里万博公園 1-1

TEL: 06-6877-6923

✉アドレス: expo70gakusyu@cronos.ocn.jp